

### 1. 単元目標、

- ・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。【コ】
- ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・世界には様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。【気】

### 2. 単元評価規準

- ◎様々な職業についての言い方を理解する。
- ◎職業について表す語彙について英語と日本語のでているところと違うところに気づくことができる。
- ◎将来の夢について尋ねたり答えたりすることが得きる。〈
- ◎将来の夢や、就きたい職業についてその理由も合わせて、話したり聞いたり、伝え合うことができる。

### 3. 表現

- ・ I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].
- member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale
- [既出]動作, 身の回りの物, スポーツ, 職業, 日課, 曜日, 状態・気持ち, 行事, 教科など

### 4 単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ 慣 気 評価規準<方法>		
1	<b>◆ 様々な職業の言い方を知る。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジェスチャークイズ」</li> <li>・「キーワードゲーム」</li> <li>・「ビンゴゲーム」</li> <li>・「ポインティングゲーム」</li> <li>・《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?”</li> </ul>		○	◎様々な職業についての言い方を理解する。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	<b>◆ 様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?”</li> <li>・「ラッキーカードゲーム」</li> <li>・《WC2-U8》【Let's Listen】「だれの夢か、考えよう。」</li> <li>・「ミッシングゲーム」</li> </ul>		○	◎職業について表す語彙について英語と日本語で似ているところと違うところに気づくことができる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
3	<b>◆ 将来、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?”</li> <li>・《WC2-U8》【Let's Watch and Think 3】「将来の夢についてわかったことをかこう。」</li> <li>・チェーンゲーム」</li> <li>・《WC2-U9》「ポインティングゲーム」</li> <li>・【Activity】「あなたの『夢宣言』をしよう。」(準備)</li> </ul>	○	○	◎将来の夢について尋ねたり答えたりすることが得きる。〈行動観察・記述で察・振り返りカード点検〉
4	<b>◆ 相手意識を持って自分の夢を紹介しようとする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?”</li> <li>・【Activity】「あなたの『夢宣言』をしよう」</li> <li>・《WC2-U8》【STORY TIME】</li> </ul>	○		◎将来の夢や、就きたい職業についてその理由も合わせて、話したり聞いたり、伝え合うことができる。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉

## 2-Lesson 13 What do you want to be?

1/4 時間

目 標 様々な職業の言い方を知る。

準 備 デジタル教材, 教師用カード, 児童用カード, 振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
<p>○「ジェスチャークイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は様々な職業をジェスチャーで表し、それらが何か尋ねる。児童から答えを引き出しながら、職業を表す語の言い方を紹介する。また、その職業に就きたいかどうか尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は小学校6年生だった頃の夢をジェスチャーで示し、それがどんな夢かたずね、児童に職業を推測させる。その後、様々な職業を同じようにジェスチャーで当てさせる。</li> <li>・外来語とそのもととなる英語とでは、音が違うことに気付かせるようにする。</li> </ul>	<p>絵カード (職業)</p>
<p>○「キーワードゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はペアになり、2人の間に消しゴムを置く。</li> <li>・指導者が言う単語などを全員で繰り返す。ただし、指導者がキーワードを言ったときは、繰り返さずに消しゴムを取る。</li> <li>・たくさん消しゴムを取れたほうが勝ち。</li> <li>・I want to be～.</li> </ul>	<p>指導者はキーワードになる単語などを確認する。職業を表す語に触れさせる。</p>	
<p>○「ビンゴゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は巻末児童用絵カードを切り取り、3×3列に机の上に並べ、ビンゴシートを作る。</li> <li>・指導者が言う職業の絵カードがあれば裏返しにする。縦横斜めに絵カードが裏返れば、ビンゴと言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が言う職業名を繰り返し言いながら、その絵を探させるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用絵カード (職業)</li> </ul>
<p>○「ポインティングゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はペアになり、1つのテキスト pp. 38-39 誌面でゲームをする。</li> <li>・指導者が言う職業を聞いて、テキスト誌面にあるその職業の絵を指さす。はやく指さしたほうが勝ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れてきたら、職業を2つ連続して言い、あとに言った職業の絵をさし示させるようにする。また、さし示した指をそのまま残して競争させる。</li> </ul>	<p>児童用教材 デジタル教材</p>
<p>○ (WC2-U8) 【Let's Chant】“What do you want to be?”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。</li> <li>・別の職業に替えて、一緒に言う。</li> </ul>	<p>まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>○Sounds and Letters「アルファベットの大文字を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。</li> <li>・振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。</li> <li>・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</li> <li>・感想を発表する。</li> <li>・挨拶をする</li> </ul>	<p>ワークシート 振り返りカード</p>

2-Lesson 13 What do you want to be? 2/4 時間

目 標 ○様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
<p>○挨拶をする。</p> <p>○アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル)</p> <p>○《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。</li> <li>・別の職業に替えて、一緒に言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。</li> <li>・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</li> </ul>	<p>・デジタル教材</p>
<p>○「ラッキーカードゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はグループになり机の回りに座る。自分の前に絵カードを並べる。</li> <li>・1番の児童が2番に What card do you want?と尋ねる。2番の児童は～, please.で答え、そのカードをもらう。これを順番に繰り返す。</li> <li>・ゲーム終了時に、指導者はあらかじめラッキーカードとして決めておいた職業を発表する。そのカードを持つ児童が勝ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの前に、職業に関する語彙を復習させる、確認する。</li> <li>・指導者は、代表児童や英語指導員とデモンストレーションをしてみせる。</li> </ul>	<p>児童絵カード（職業）</p>
<p>○【Let's Listen】「だれの夢か、考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は音声教材を聞いて、誌面の子供たちの将来の夢を聞き取る</li> <li>分かったことを表に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物がどんな夢をもっているかを予想させてから聞かせるなど、目的をもって聞くことができるようにする。</li> <li>・3人の登場人物が将来の夢とその理由などを話している</li> <li>音声聞かせ、分かったことを表に書かせる。</li> </ul>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>○「ミッシングゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は教師用絵カード6～8枚を黒板に貼り、児童に目をつぶらせ1枚カードを抜く。</li> <li>・児童は目を開けてなくなったカードの職業を言う。</li> </ul>		<p>・教師用絵カード</p>
<p>（WC2-U8）【Let's Watch and Think 2】「将来の夢についてわかったことをかこう。」</p> <p>1回目 Laksh</p> <p>2回目 Christina</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Let's Watch and Think 2は第2時、Let's Watch and Think 3は第3時に行う。どちらも、外国の子供の夢を聞いて分かったことを書くという活動である。</li> <li>・第1時のLet's Watch and Think1で行った指導と同様、音声を聞かせる前に内容を予想させる。</li> </ul>	<p>・デジタル教材</p>
<p>○Sounds and Letters「アルファベットを書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。</li> <li>・振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。</li> <li>・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</li> <li>・感想を発表する。</li> <li>・挨拶をする</li> </ul>	<p>・ワークシート</p> <p>・振り返りカード</p>

## 2-Lesson 1 3 What do you want to be? 3/4 時間

**目 標** 世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気づき、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

**準 備** デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活 動	準 備
<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)</li> <li>○(WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。</li> <li>・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル教材</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○(WC2-U8) 【Let's Watch and Think 3】 「将来の夢についてわかったことを書こう。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル教材を視聴して、登場人物の将来の夢に関する話から、分かったことを表に書く。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導の仕方や留意点については、第2時の Let's Watch and Think と同様。</li> <li>・ 映像視聴の流れで、次の児童とのやり取りにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材</li> <li>児童用テキスト</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「チェーンゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童は5, 6人1グループで1列に並ぶ。</li> <li>・ 先頭児童は列2番目の児童に “What do you want to be?” と尋ねる。2番目の児童は “I want to be.” と答える。</li> <li>・ 次に3番目児童が2番目児童に尋ね、2番目児童が答える。</li> <li>・ これを繰り返し、最後尾の児童は、全員の答えも含めて自分の答えを言う。</li> </ul> </li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○(WC2-U9) 「ボインティングゲーム」</li> </ul> <p>この活動で言う表現は、次時で夢宣言をする際に中学校で入りたい部活動を言うためのヒントになる。</p> <p>1.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者は、『We Can 2』 pp. 66-67 の誌面を見ながら、中学校の部活動の言い方を紹介する。はじめに英語で部活動の名前を言い、それがどの部活動なのか誌面から当てさせてもよい。</li> <li>・ 指導者は I want to join ~ club [team]. などの表現で、部活動の名前を言う。児童は指導者が言う部活動の絵をさし示す。</li> <li>・ 指導者は児童の様子を見ながら何度も聞かせ、児童全員が絵をさし示したあとに、教師用絵カードを提示して確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師用絵カード</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○【Activity】 「あなたの『夢宣言』をしよう。」 (準備) 「Hi, friends! 2」 P40</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さくら、たく、アレクシそれぞれの夢を推測させてから、音声教材を聞かせ、分かったことを空欄に書かせる。</li> <li>・ 児童は就きたい職業についてのヒントを考えたり、絵を描いてポスターを作成したりして、発表の準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者は、次時に、この音声を参考にそれぞれが「夢宣言」をすることを告げ、その準備をすることを告げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童用テキスト</li> <li>デジタル教材</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。</li> <li>・ 振り返りカードに記入する。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の実態に合わせて、3文字ほど書く。</li> <li>・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。</li> <li>・ 感想を発表する。</li> <li>・ 挨拶をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 振り返りカード</li> </ul>

2-Lesson 13      What do you want to be?    4/4 時間		
<b>目 標</b> 世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気付き、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <b>準 備</b> デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード		
児童の活動	指導者の活 動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) ○(WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 ・
○【Activity】「あなたの『夢宣言』をしよう。」 ・グループで作成したポスターをもとに「あなたの『夢宣言』をしよう。」をクイズ形式で行う。1 グループ対1 グループで、作成したポスターをもとにクイズ形式で就きたい職業を紹介する。 【発表の例】 A: 発表児童 B: 発表を聞いて夢を当てるグループの児童 A: I like sports. I like soccer. I want to join the soccer club. B: A soccer player? A: That's right. I want to be a soccer player. B: どうしてですか。 A: サッカー選手になって、世界の選手と友達になり、サッカーで平和な世界にしたいからです。 B: Nice dream. Good luck. You can do it. A: Thank you.	・意欲的に取り組めるように、学級で人気が高いと思われる職業ベスト3を予想してからインタビューを始めさせたり、活動後にインタビュー結果を報告させたりするとよい。 ・インタビューではあるが、就きたい職業だけを尋ね合うのではなく、理由を聞いたり、感想を述べたりなど、これまでの対話活動で大切にしてきた「対話を続けること」「対話を楽しむこと」を、本活動でも大切にしよう伝える。	デジタル教材 児童用テキスト
○《WC2-U8》【STORY TIME】 ・文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声のあとについて言う。 ※読んでいる文字を押さえながら読むようにする。		デジタル教材
・指導者は大きくなったさくらとたくを紹介し、児童の夢が実現できるようはげます。 ・2年間の外国語活動や本時の活動を通して、感じたこと、考えたことなどを発表する。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童に『Hi, friends! 2』裏表紙の内側を見させ、問いかけを考えさせる。 ・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ※He, She を書くこともよい。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート ・振り返りカード

#### 【参考】

・「夢宣言」で話した自分の夢やなりたい職業、その理由などを、絵カードに表記されている文字や指導者が書いた英語を参考にして書き写した「夢宣言カード作り」なども可能。  
しかしこの場合、文章をすべて書き写すということではなく、職業名など児童や学級の事態に応じて取り組ませることが大切である。 外国語学習のまとめとして、最後に、チャレンジ的に扱うと良い。そのためには、児童の実態に合わせた、ワークシートの工夫が必要となる。

例 My Dream.

Hello. My name ~.

I want to be a teacher. I like children.

I like music. Thank you.

下線部分以外は書いておき、絵カードに書かれている職業名や板書などから、書き写させるようにする。その際、

- ・4 線上に丁寧に書く。
  - ・大文字と小文字が使われるところに気をつける。
  - ・ピリオドを忘れずに書く。
- などは、確認できると、なお良いです。